
第5回 新東名夢ロード懇談会 開催報告

2009. 4. 22



1. 開催概要

○開催日時 4月14日(火) 10:30~12:30

○開催場所 虎ノ門パストラル 新館5階「ミモザ」

○出席委員

座長 森地 茂 政策研究大学院大学 教授

委員 池内 克史 東京大学生産技術研究所情報・エレクトロニクス系部門
先進モビリティ(ITS)研究センター 教授

加藤 順介 (株)小糸製作所 取締役相談役

神野 信郎 中部経済連合会 副会長

川嶋 弘尚 慶応義塾大学理工学部管理工学科 教授

苦瀬 博仁 東京海洋大学 副学長 流通情報工学科 教授

平野 次郎 学習院女子大学国際コミュニケーション学科 教授
(元NHK解説委員)

マリ・クリスティーヌ 異文化コミュニケーター、
地域・都市・まちづくり研究所所長

森川 高行 名古屋大学大学院環境学研究科
都市環境学専攻 教授

横山 雅子 (株)マックス・ヴァルト研究所 代表取締役社長

渡邊 浩之 トヨタ自動車(株) 技監 (敬称略、五十音順)

2. 議事内容



○実証実験計画 (案) について

実験の目的、場所、主な実験項目、スケジュール、有効活用策

○新しい貨物輸送システムのロードマップについて

本線走行形態、ターミナルの位置、車両開発の観点からのロードマップ (案)

○休憩施設に関する検討状況

新東名 (御殿場～引佐) の7箇所の休憩施設の開発コンセプト

3. 懇談会での主な意見



①全般

- ・新たな取組みが積極的になされており、また、導入にあたっては段階的なスケジュールを示しており評価できる。

②実証実験計画(案)について

- ・実験・サービスメニューは、環境への配慮・安全性の向上・渋滞緩和などの幅広い内容を含んでいるためにわかり難い面もある。地域の皆さまやお客様の理解を得ることも実験の目的の一つであり、実験の内容や方向性を表すわかりやすいメッセージが必要ではないか。

③新しい貨物輸送システムについて

- ・システムの具体化に向けた検討のスピードアップを図るべき。

④休憩施設について

- ・地域との連携、環境負荷の軽減及び様々なお客様の視点からの検討を通して、魅力ある休憩施設を整備して欲しい。

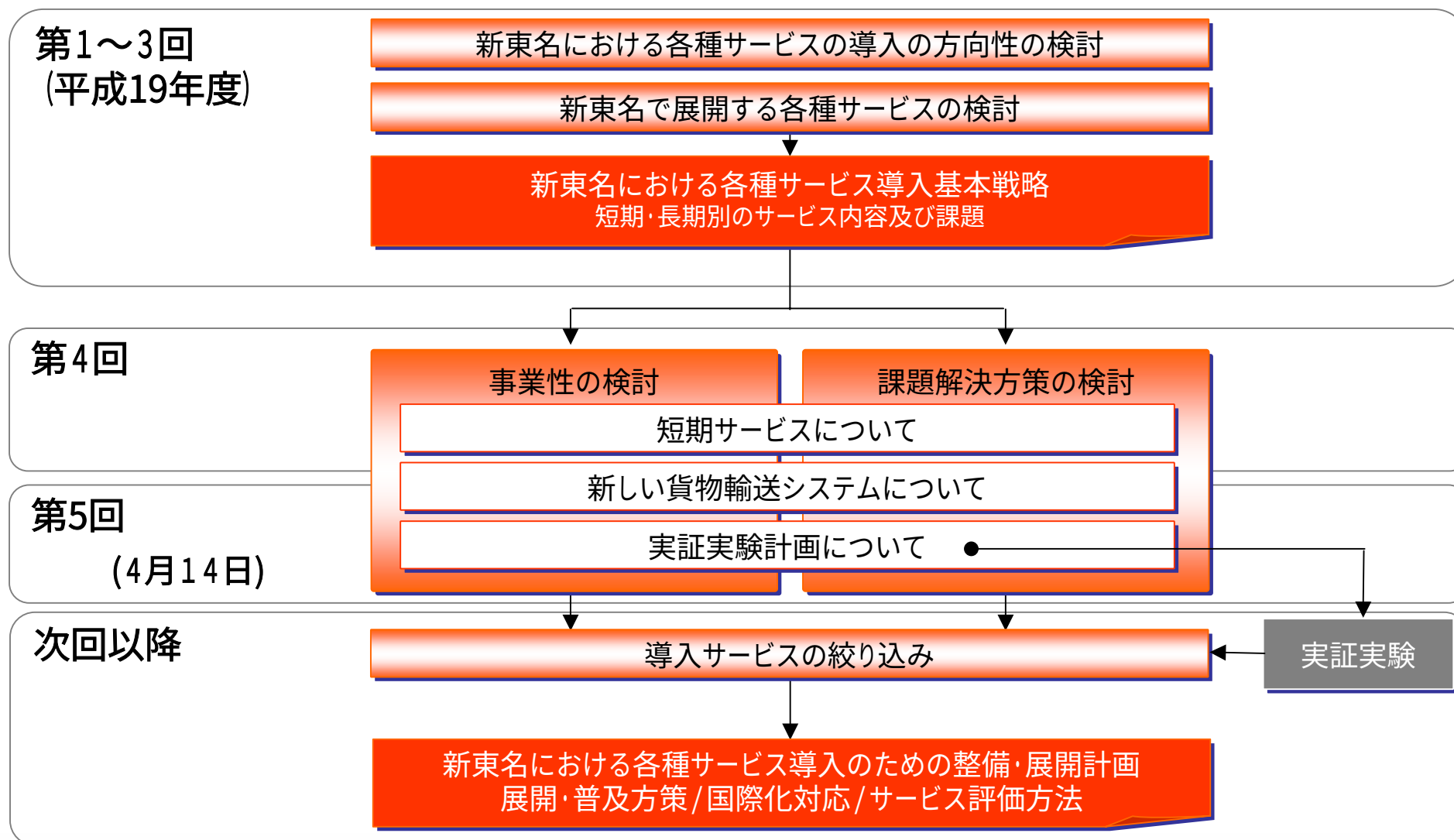
第5回 新東名夢ロード懇談会資料 (抜粋)

2009. 4. 22

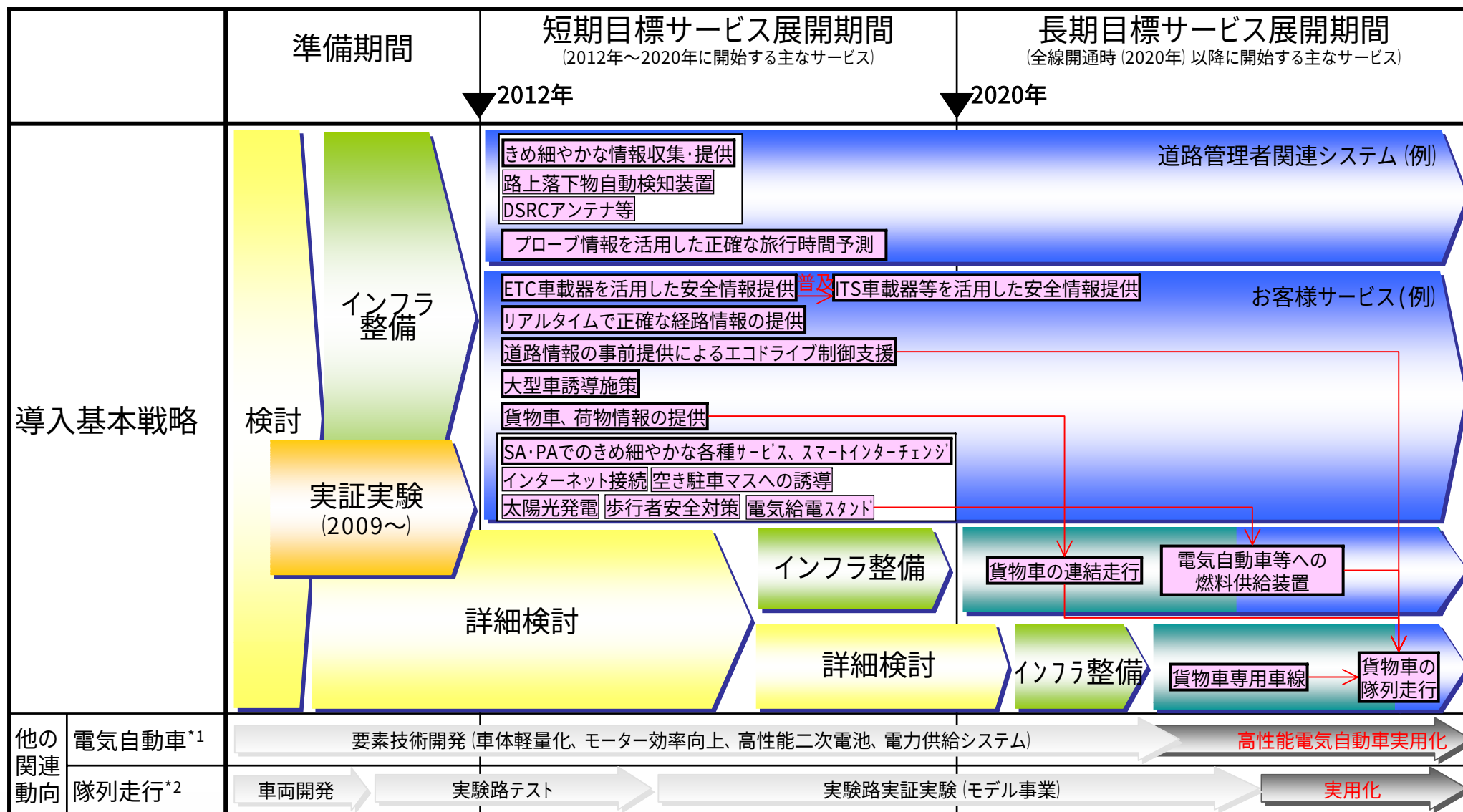


1. 新東名夢ロード懇談会のスケジュール (案)

NEXCO

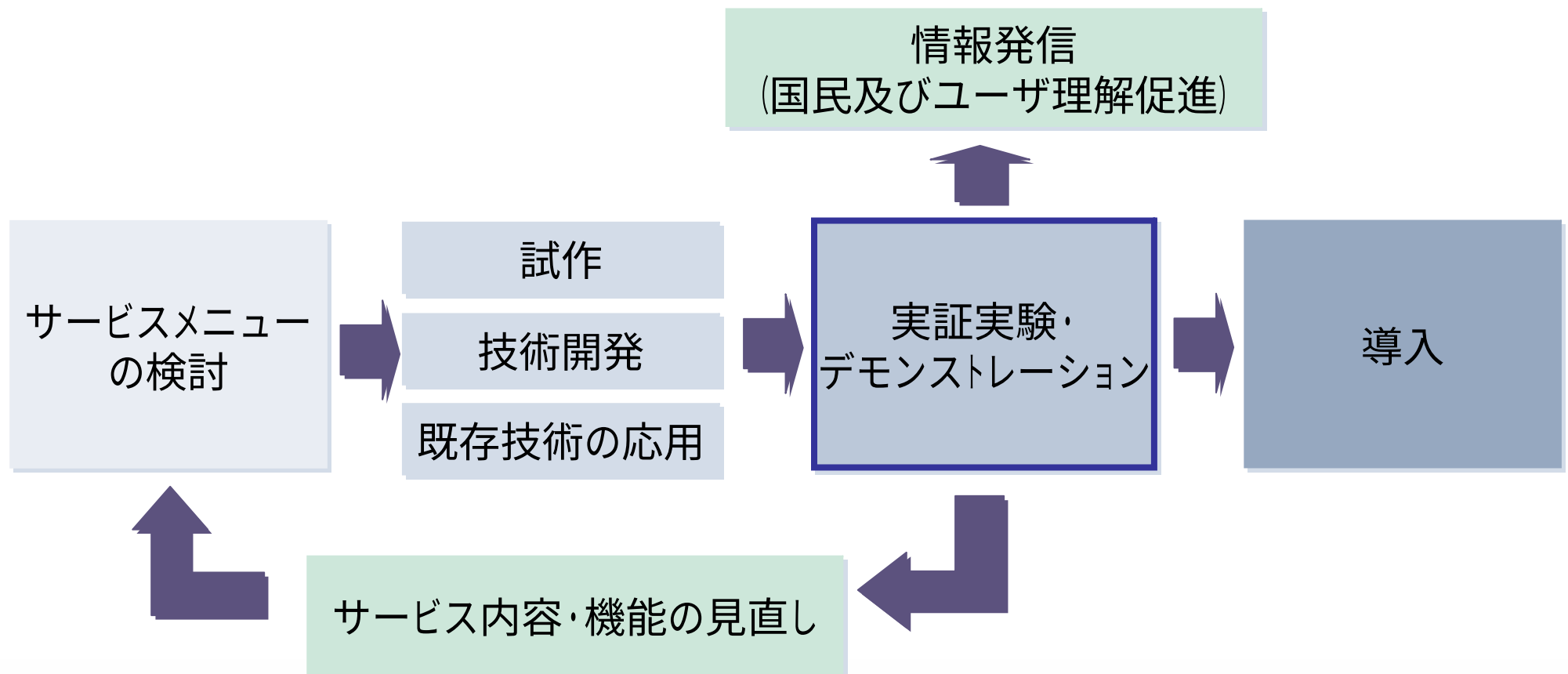


2-1. 実証実験の位置づけ サービスメニュー導入行程 (案)



2-2. 実証実験の位置づけ 実証実験の目的・意義

1. 技術面の検証 (実用化に向けたデータ取得、技術的フィージビリティの確認 (基礎的データ収集等)、ライフサイクルコスト等を考慮した効果評価、利用者評価の実施)
2. サービスの内容や効果、技術的成熟度を情報発信し、国民及びユーザーの理解を得る



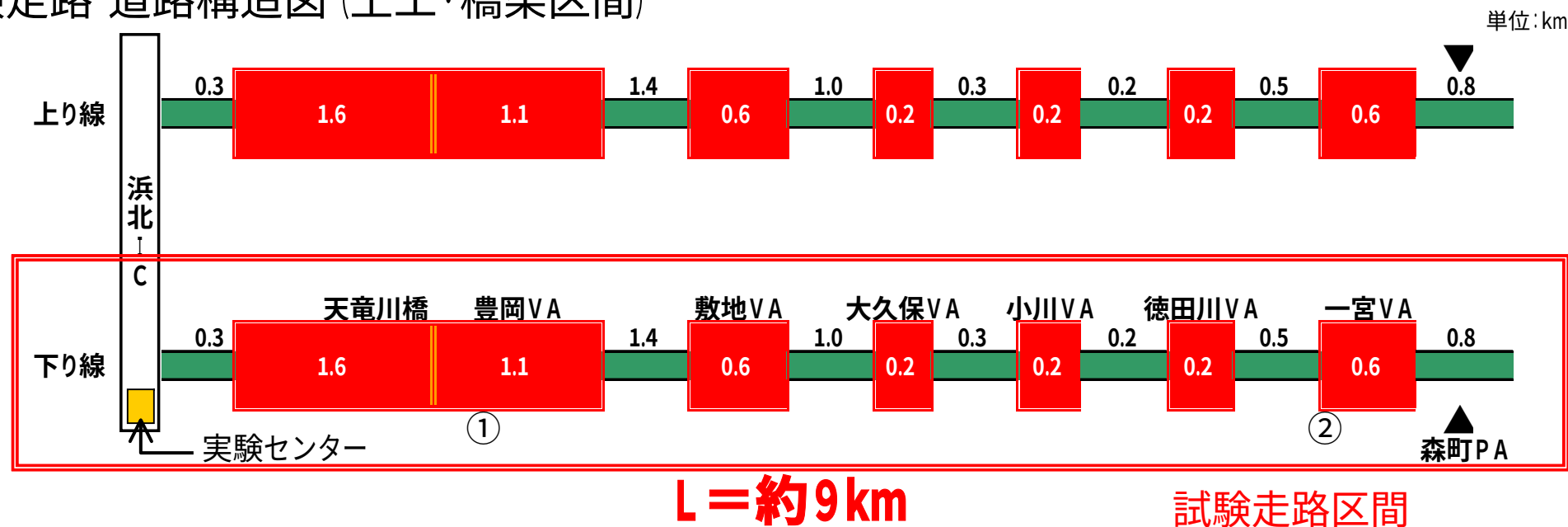
2-3. 実証実験の試験走路の位置・概要

NEXCO



2-4. 実証実験の試験走路の位置・概要 (本線A区間)

試験走路 道路構造図 (土工・橋梁区間)



橋梁
土工



① 豊岡高架橋

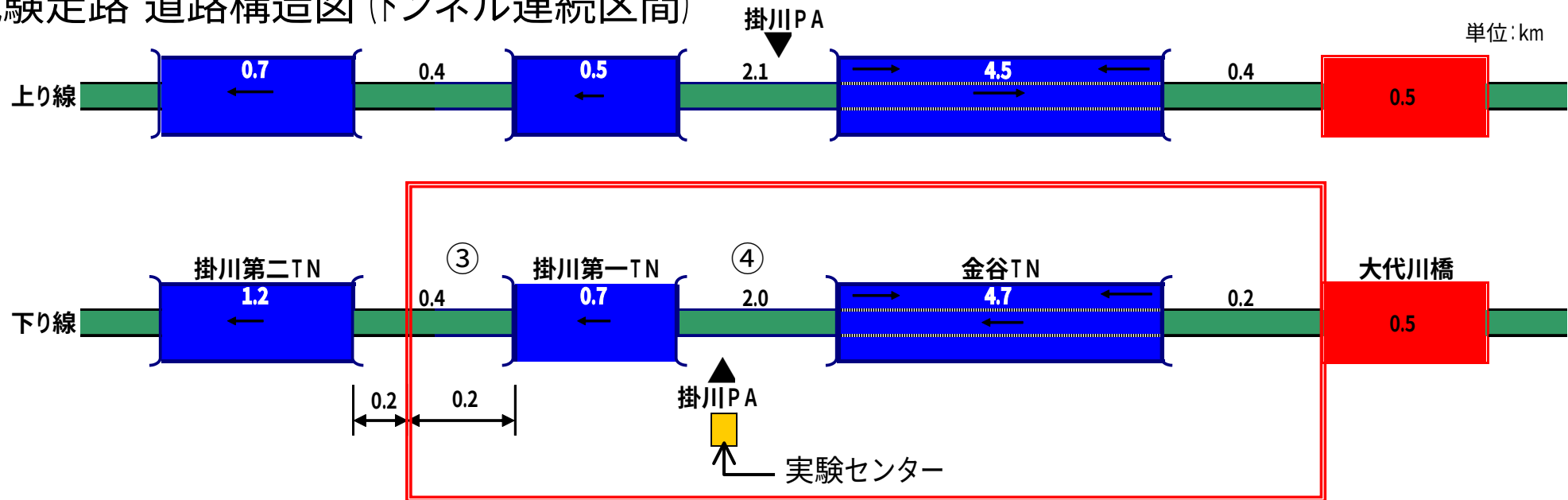


② 一宮高架橋

名称はすべて仮称

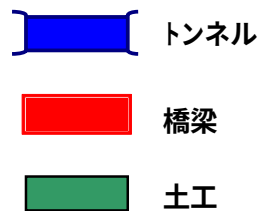
2-5. 実証実験の試験走路の位置・概要 (本線B区間)

試験走路 道路構造図 (トンネル連続区間)



L=約8km

試験走路区間

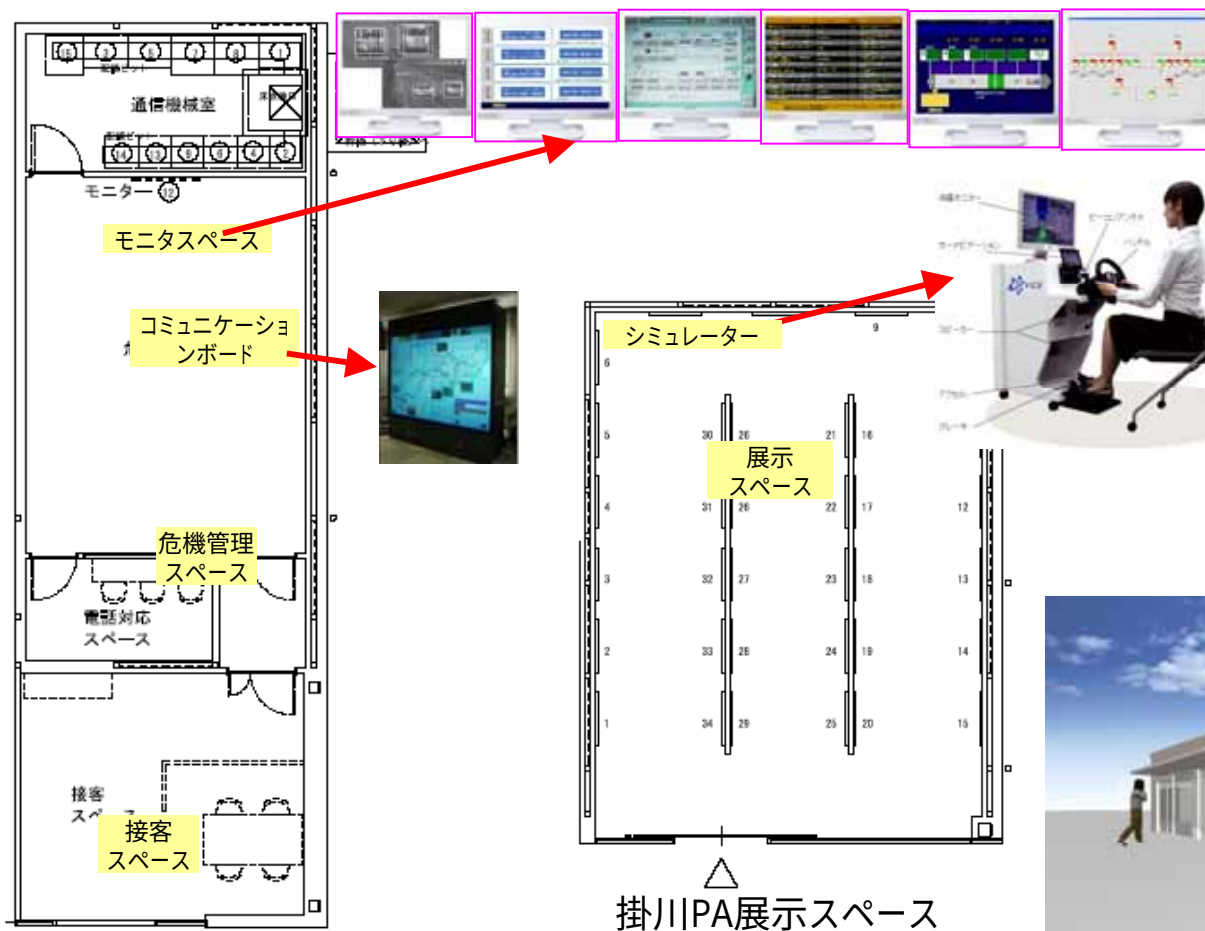


名称はすべて仮称

2-6. 実証実験の試験走路の位置・概要 (実験センター)

実験センターの主な機能

- 本線・トンネル部モニター機能：全線監視用テレビカメラの画像をモニター画面で提示する機能
- モデル展示機能：快適なトイレ・リフレッシュ空間（スーパートイレ、リフレッシュコーナー、等）
- レクチャー機能：パネルや画像等により、来訪者に新東名および実証実験での取り組み等について説明



浜北IC展示スペース

イメージ



2-7. 実験・デモンストレーションのスケジュール(案)



		2009年 10～12月	2010年				2011年 1～3月
			1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	
実験・デモンストレーション	本線・トンネル		ITS車載器を活用した安全情報提供 テレビカメラを活用した警告システム 多機能情報装置 高機能(マルチカラー可変式)情報板 キャビテーションを活用した清掃装置 新たな(長寿命)トンネル照明 等				
			お客様支援車の開発		規制材の自動設置回収車		隊列走行実験
		橋梁の長寿命化 長寿命の舗装 路上落下物を自動回収する装置の技術開発 等					
	実験センター・IC		歩行者安全サービス 快適なトイレ・リフレッシュ空間検討 休憩施設のトイレ清掃の効率化及び作業改善検討 交通情報、広報・防災機能空間 電気自動車用給電スタンド 等		料金所の無人化		
		環境対応型舗装					



安全・安心の実現 環境への配慮 多様なライフスタイル・活力ある社会の実現 道路管理者支援技術装置

※新東名のフィールドにおいて実証実験を実施する一方、営業中路線で検証が必要な場合は、東名において適宜実験を実施 8

2-8. 社会貢献施策等への活用



■有効活用方策展開のねらい：

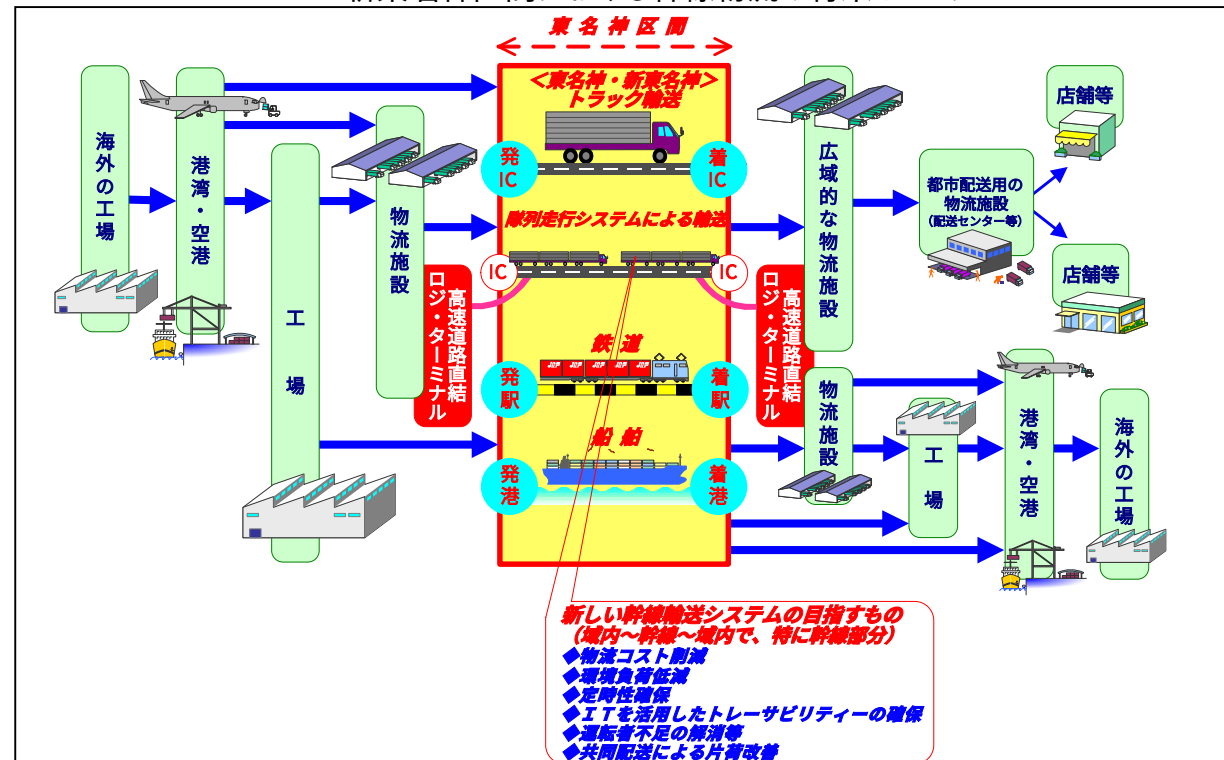
・技術開発等で試験走路を使用していない期間を利用して、様々なメニューを実施あるいは実施に協力することにより、社会貢献、新東名整備の理解促進、多様な新サービスの開発促進、新東名利用の可能性の拡大、等を広くアピールする。

有効活用方策	内 容	メニュー項目
社会貢献施策への活用	関連企業・団体等と共に、交通安全セミナー等の社会貢献施策を展開する。	・地元県警・自治体・学校等と協力した交通安全セミナー ・カーメーカー等と協力したエコドライブセミナー 等
関連企業・団体等によるオープンメニューの展開	企業・団体等が希望する場合、技術開発やデモンストレーションの場として実証実験区間を提供する。	・電気自動車走行実験 等

3-1. 新しい貨物輸送システムのロードマップ検討 全体像

新しい貨物輸送システムのイメージ

▶新東名神区間における幹線物流の将来イメージ



▶新しい貨物輸送システムの運営イメージ

幹線輸送SPCによる運営

高速道路直結ロジターミナル
－幹線輸送
－高速道路直結ロジターミナル

SPC: 特定目的会社

▶新東名神における新規休憩施設のイメージ

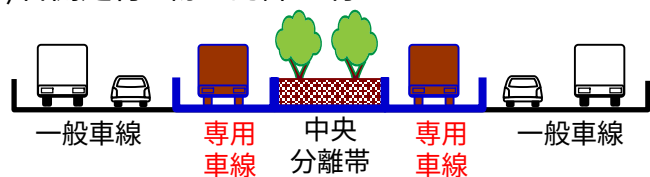


3-2. 新しい貨物輸送システムのロードマップ検討 本線走行形態について

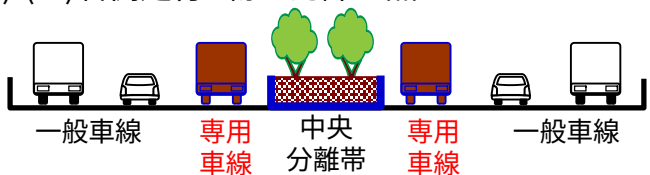
想定される条件設定とシステムコンセプト素案の抽出

想定される条件設定			システムコンセプト素案
[A] 専用車線の設置位置	[B] 物理的障壁	[C] 専用ランプの設置	
右側走行	有	専用ランプ有り	(ア) 物理的障壁および専用ランプを設けた専用車線
	無		(イ) 専用ランプを設けた専用車線
左側走行			専用ランプ無し
			(エ) 左側走行の専用車線

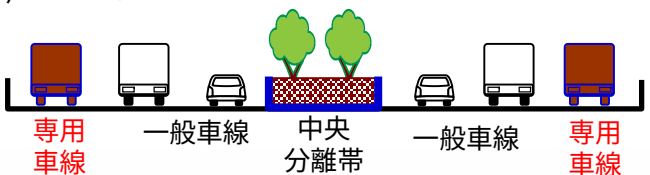
(ア) 右側走行、物理的障壁有



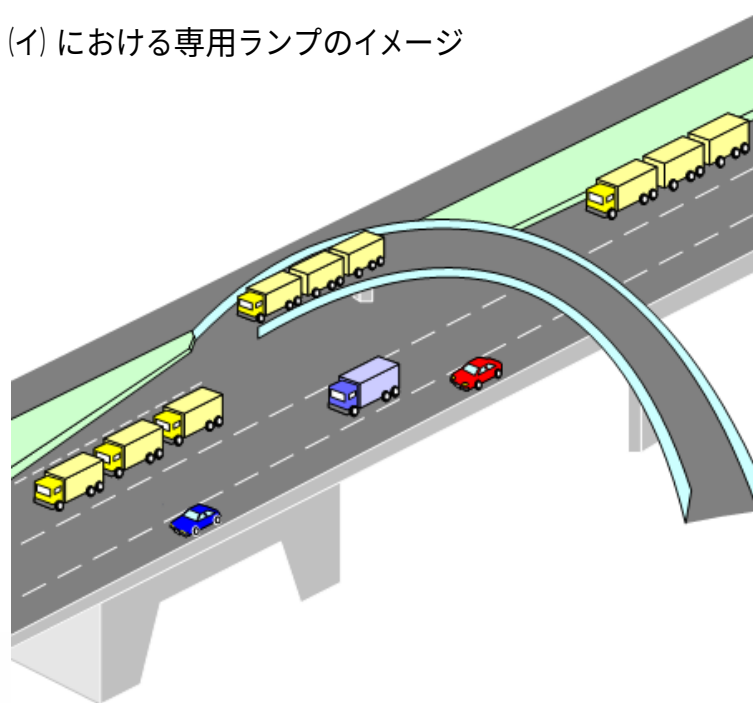
(イ) (ウ) 右側走行、物理的障壁無



(エ) 左側走行、物理的障壁無



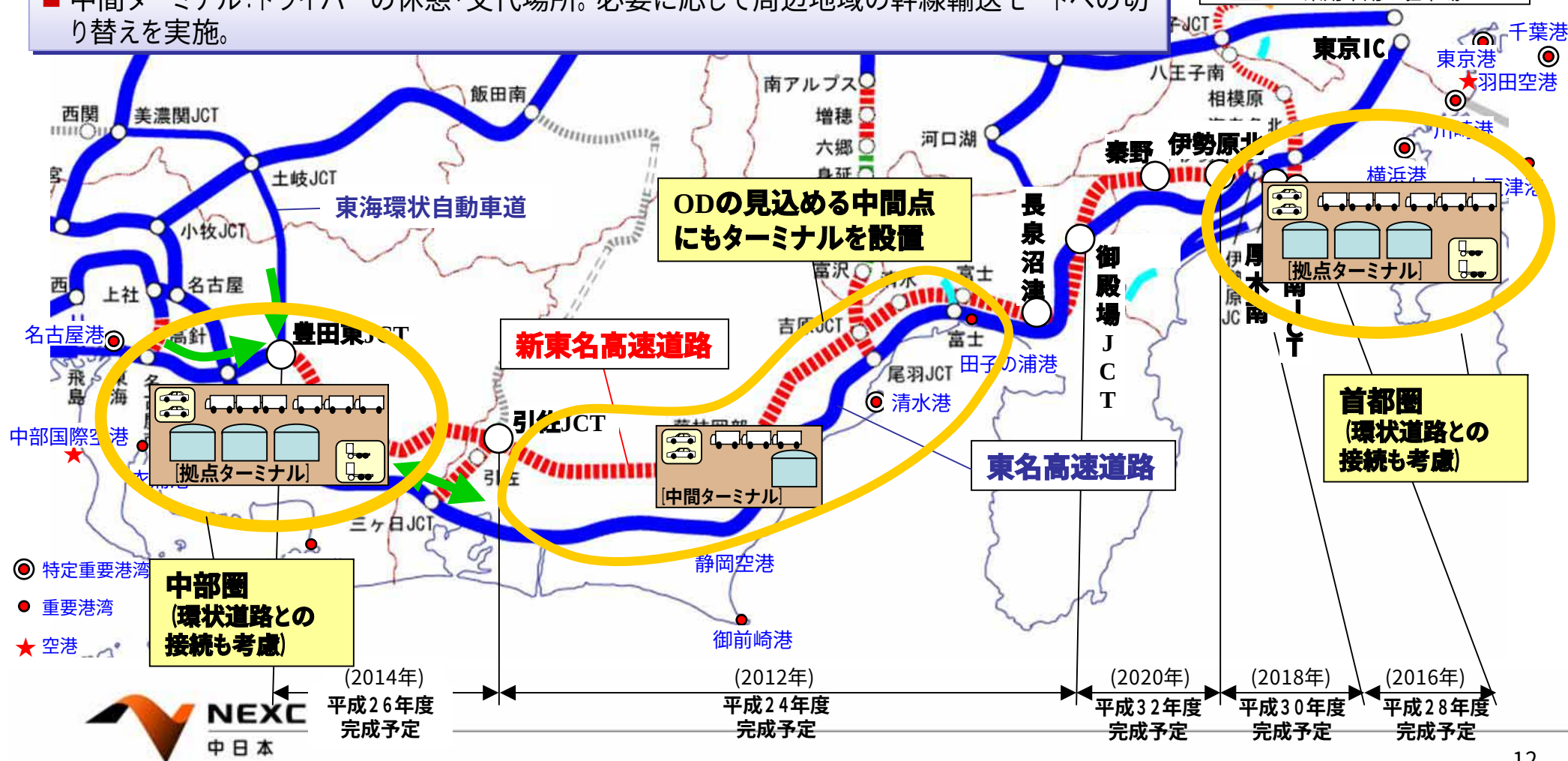
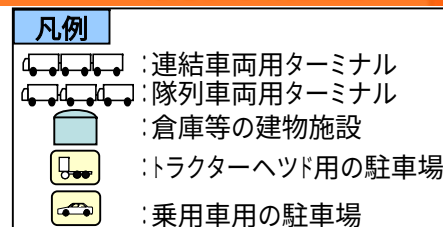
(ア) (イ) における専用ランプのイメージ



3-3. 新しい貨物輸送システムのロードマップ検討 ターミナルのあり方について

ターミナルの検討：候補位置

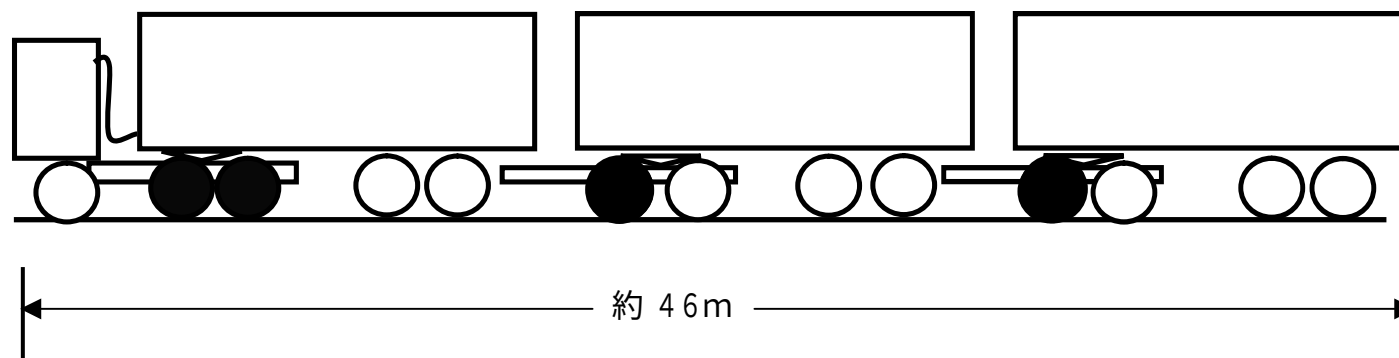
- 拠点ターミナル：首都圏、中部圏における幹線輸送モードへの切り替え基地。環状道路との接続を考慮。
- 中間ターミナル：ドライバーの休憩・交代場所。必要に応じて周辺地域の幹線輸送モードへの切り替えを実施。



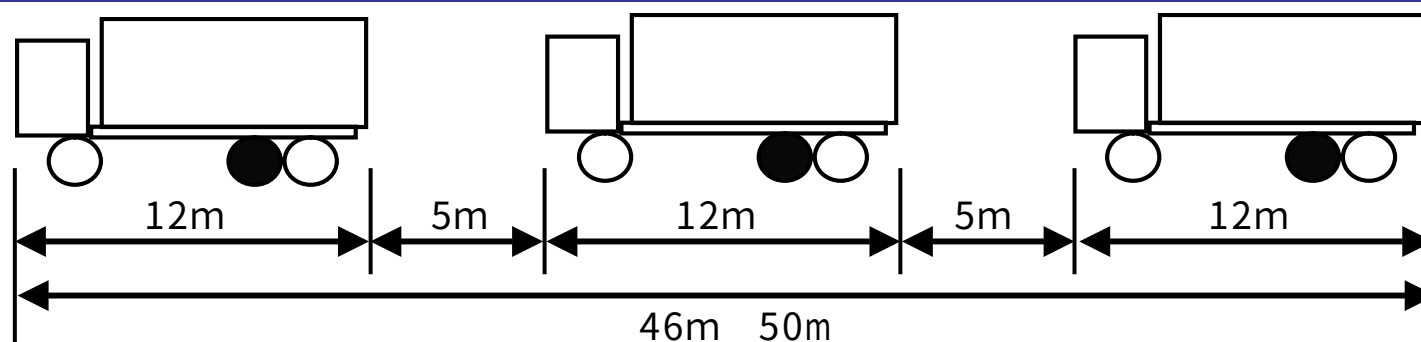
3-4. 新しい貨物輸送システムのロードマップ検討 開発車両について

車両イメージ

■ 連結: 20トン積 ウイング・セミトレーラ (荷台容積: 70m^3) 3台

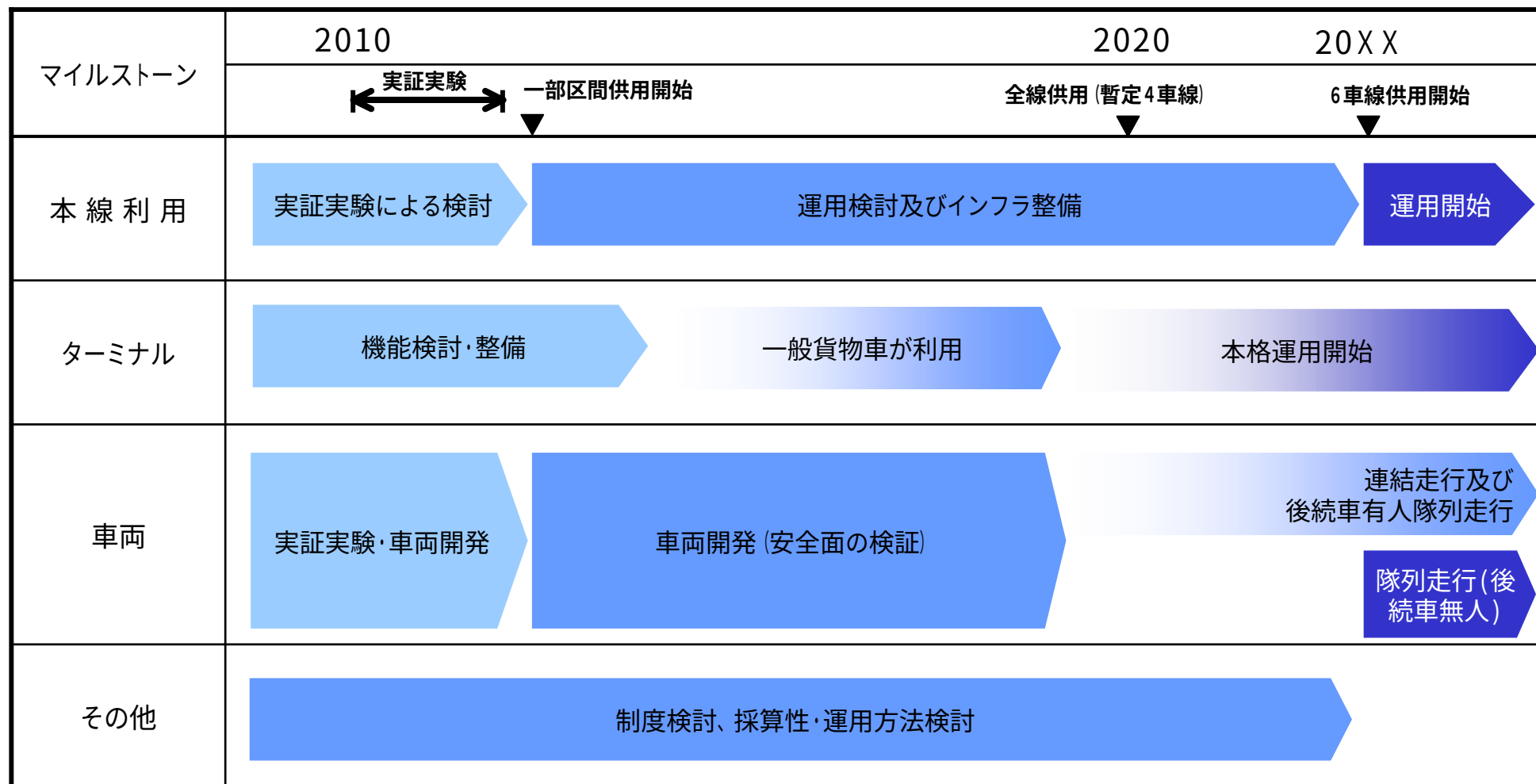


■ 隊列: 14トン積 大型ウイング・トラック (荷台容積: 57m^3) 3台隊列

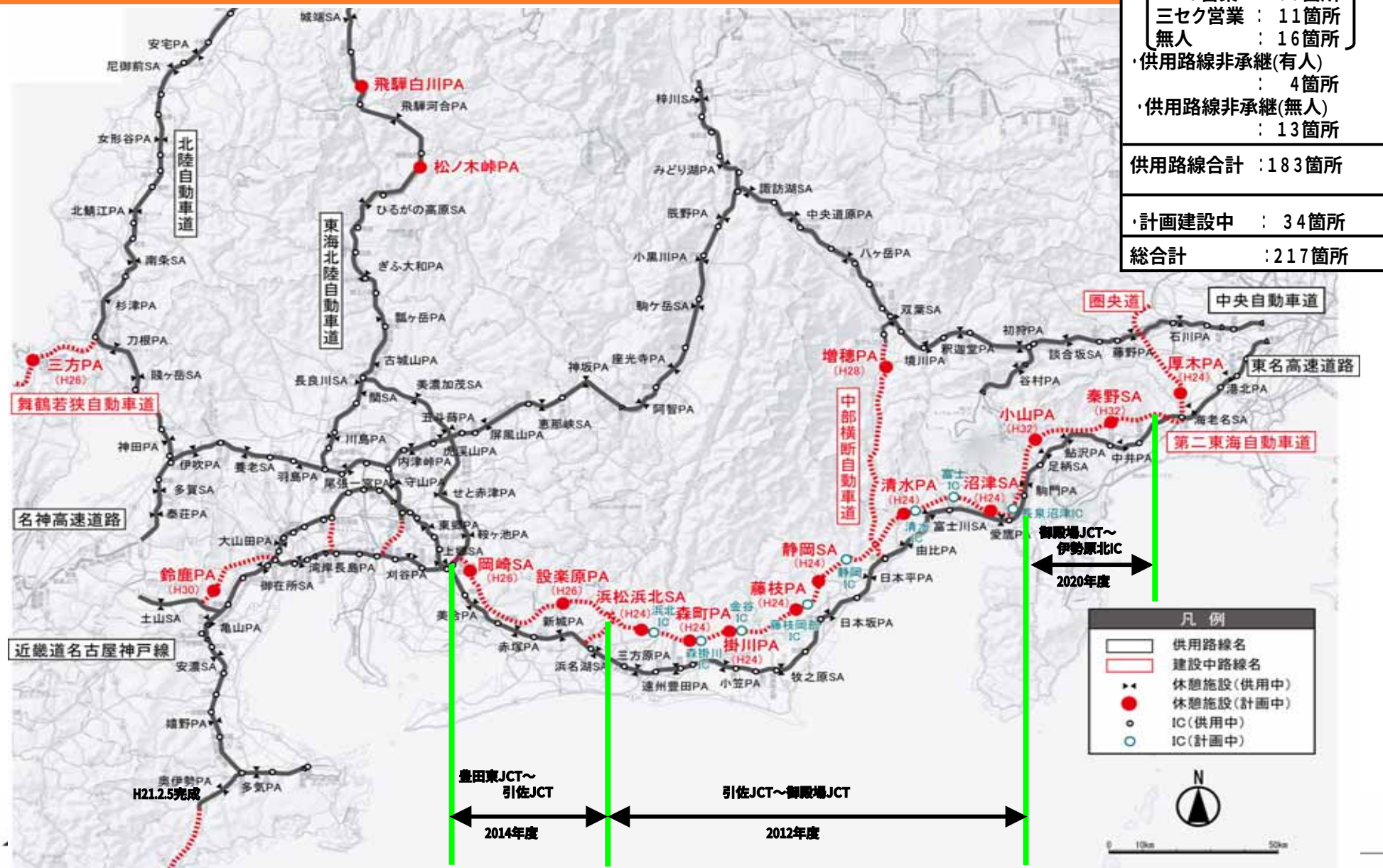


(隊列・車両間隔はイメージ)

3-5. 新しい貨物輸送システムのロードマップ検討 ロードマップ (案)



4-1. 新規休憩施設位置図



4-2. 休憩施設の開発方針とコンセプトの整理

NEXCO

新東名新規休憩施設の基本理念

次世代高速道路に相応しい、地域と連携する、常に新鮮で、おもてなしの心を持った、お客様本位の休憩施設

新東名の位置付け

経営理念

- 時代をリードする高速道路空間の創出
 - 地域社会への貢献
 - お客様第一主義
- 安心・安全・快適性・楽しさ・便利さを提供
- おもてなしの心をもったSA・PAの開発

新東名に期待される役割

- 抜本的サービス改善
 - 2ルート化による信頼性の向上
 - 大動脈として三大都市圏の連携強化
- ドライバーの安心・安全を保障しながら
スムーズな交通インフラとして機能

社会背景

- エコロジーへの意識の高まり
 - 若年層の車離れ
- 次世代型の車を使った
新たな生活を提案する仕掛けづくり

現東名との役割分担

休憩施設に必要な機能

多様な
社会的要請
お客様ニーズ
に対応

お客さまの声

消費トレンド

新東名休憩施設の開発方針

『快適』：多様な社会的要請やお客様ニーズに対して、それぞれに快いサービスを適切に提供

コンセプト

休憩施設全体レイアウト

- お客様の安全性とサービスの向上
- 機能的でゆとりのある空間の確保

各エリアの商業施設

- 基本機能を充実しつつ、今までの休憩施設にはないサービスを提供
- 様々なお客様に対し、路線・地域特性を活かして、各エリア毎に個性化

4-3. 開発コンセプトの整理 (静岡SA上りレイアウト)

NEXCO



4-4. 開発コンセプトの整理 (商業施設)

各エリアの商業施設

- 基本機能を充実しつつ、今までの休憩施設にはないサービスを提供
- 様々なお客様に対し、路線・地域特性を活かして、各エリア毎に個性化

整 理 項 目		要 点					
路線特性 地域特性		・現東名は小型車の短トリップ、新東名は大型車の長トリップでの利用が多くなるものと想定されるため、新東名においては、特に大型車に配慮する。 ・長トリップのお客様が多くなることから、地域特性を考慮して各エリアに特徴を持たせ、路線全体としてお客様の様々なニーズに応えるよう、各エリアのコンセプトを整理する。					
お 客 様	職業ドライバー (大型車)	・新東名では、職業ドライバーの利用者が多くなると予想されることから、この方々を対象とした簡易なリラクゼーション施設を整備する。特に、職業ドライバーから設置要望の多い休憩施設においては、ニーズに対応したシャワー・ランドリー・リラクゼーション等施設の充実を図る。					
	高齢者 女 性	・新東名は、線形がよく走りやすいことから、特に休日は運転に不慣れな高齢者・女性の利用が多くなることも予想されるため、高齢者・女性に配慮した施設とする。					
	外国人	・ビジット・ジャパンに対応するため、店舗のサインや商品について、外国からのお客様に配慮する。					
	周辺地域住民	・ぶらっとパークを整備し、周辺地域のお客様に対する利便性を向上させる。					
情報技術		・デジタルサイネージによる案内、無線LAN等の情報提供を充実させる。					
エコロジー		・太陽光発電、風力発電、アイドリングストップに寄与する給電システムの整備、積極的な緑化等によりCO2削減に寄与する。					
	浜松浜北SA	森町PA	掛川PA	藤枝PA	静岡SA	清水PA	沼津SA
開発コンセプト	音のある風景	東海道の賑わい市	職業・商業ドライバーの御用達	みんなのポケットパーク	ハートフルオアシス	くるまライフ・コミュニティパーク	リゾートマインド
	楽器の街「浜松」らしく、音をテーマにした演出やミュージアムでファミリー層を取り込み「思い出に残る旅と休息」を提供	東海道の中心に位置する宿場町イメージの「別世界」で観光旅行のお土産選びに最適なマーケット	職業ドライバーがリラクゼーションに利用する「リピート率の高い」施設	平日は商業ドライバーやビジネスマンの「仕事の合間の憩いの場」を、休日は一般客へ「スタイリッシュな都会のビジネス街の雰囲気」を提供	静岡の移動の拠点に相応しい静岡県各地の名産品から地元へ支持される味や静岡オリジナル商品を揃える	スポーツアクティブマインドを基調に、車・バイクを楽しみたい人々の集いの場として「単なる通過点以上の付加価値」を提供	広域から「人・モノが集う港」をイメージし、女性を中心とした観光客がゆったりと過ごすことができる空間で上質なサービスを提供